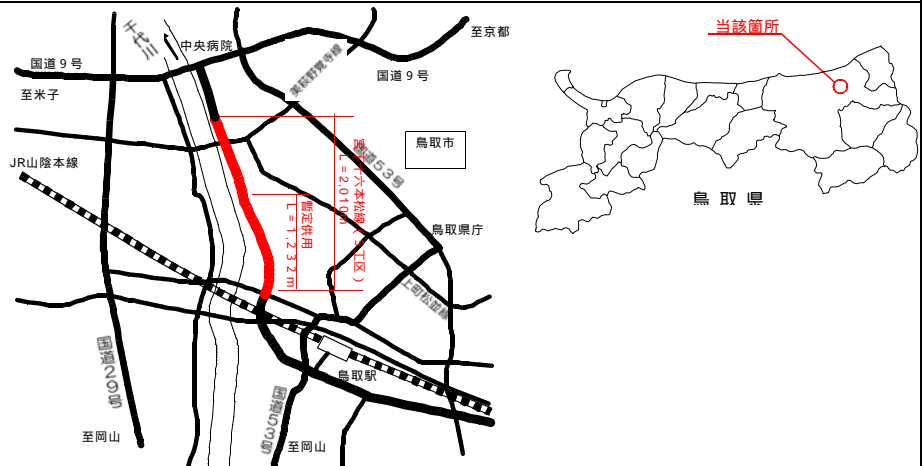


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷春敏

事業名 みやしじゆうろつぽんまつ 宮下十六本松線	事業区分 街路	事業主体 鳥取県
起終点 自：鳥取県鳥取市行徳二丁目 至：鳥取県鳥取市秋里		延長 2.01km
事業概要 都市計画道路宮下十六本松線は、国府町から国道9号（鳥取市秋里）までの区間を千代川右岸沿いに4車線で整備し、鳥取市街地を囲む半環状道路を形成することにより、市街地に流入する交通の円滑な誘導と市街地の渋滞緩和を図り、都市活動の活性化に寄与する。 当事業は、このうち鳥取市行徳から鳥取市秋里までの区間を整備するものである。		
H9年度事業化	S47年度都市計画決定 (H8年度変更)	H10年度用地着手
全体事業費 191億円		事業進捗率 95%
計画交通量 18,100台/日(15,700台/日~22,100台/日)		供用済延長 1.23km
費用対効果分析結果 B/C(事業全体) 1.2 (残事業) -	総費用 (残事業)/(事業全体) -/211億円 (事業費：-/209億円) (維持管理費：-/2.0億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) -/261億円 (走行時間短縮便益：-/247億円) (走行費用減少便益：-/10億円) (交通事故減少便益：-/4.0億円)
基準年 平成18年		
感度分析の結果 未実施		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（第三種空港鳥取空港へのアクセス向上が見込まれる） ・国土・地域（地域高規格道路鳥取環状道路としての位置づけあり）		
関係する地方公共団体等の意見 鳥取市から早期供用を望まれている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 中国横断自動車道姫路鳥取線がH20年度開通見込み。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・千代橋から西品治までのL=1,232mを暫定供用中 ・事業実施にあたり、県と市が協力して環状道路推進室を現地に設置し、地域住民の協力を得ながら整備を進めている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度までに用地買収が終了し、全線にわたり工事を進めており、平成20年度に全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等 特になし。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

